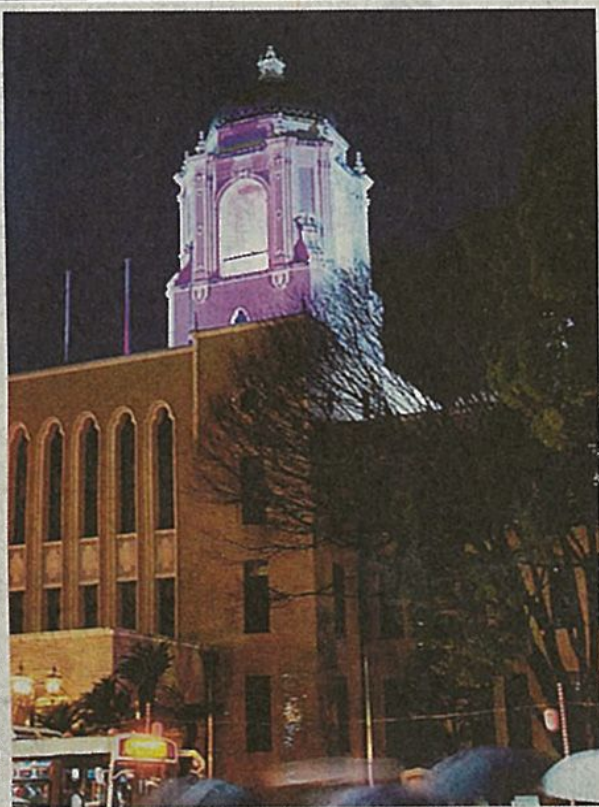


てんかん啓発光で

静岡市役所を紫色に

てんかんについての 合わせて、静岡市役所
知識を広める「パープ 静岡庁舎本館を紫色に
ル・デー(26日)」に ライトアップする点灯



紫色にライトアップされた静岡市役所静岡庁舎本館

21日午後6時半ごろ、静岡市葵区

式が21日、開かれた。26日までの毎日日没から午後10時まで、同所のほか、駿府城公園の坤櫓(ひつじさるやぐら)をライトアップする。

式に臨んだ静岡てんかん・神経医療センター(静岡市葵区)の井上有史院長は「患者は子どもから高齢者まで国内に約100万人いるとされる。てんかんについて考え、理解する機会にしてほしい」と呼び掛けた。井上院長と田辺信宏市長、活

動に賛同する静岡けやきライオンズクラブの榎戸真弓会長が点灯ボタンを押した。

パープル・デーは、てんかんのイメージカラーである紫色の物を身に着けて患者を応援する、カナダ発祥の活動。

同ライオンズクラブは26日午前10時から、同区の青葉シンボルロードでラベンダーの苗を無料配布する。同所でてんかんに関する展示や相談会も行われる。